

アピール

ゆたかな学びを創造する教育改革をすすめよう

わたしたちは、全国からのべ1万人がここ福岡・北九州の地に集い、第68次教育研究全国集会を開催しました。

集会のオープニングでは、福岡朝鮮歌舞団と地元北九州の九州朝鮮中高級学校の生徒による合同公演として、朝鮮半島に古くから伝わる歌・踊り・楽器の演奏がありました。全体集会では、子どもの思いや考えを出発点とし、「ゆたかな学び」を創造していくことが重要であり、地域・保護者の方々とともに社会的対話を通じて考えていくことが必要であることを確認しました。記念講演では、「憲法改正」と教育への国の介入等が危惧されることが指摘されました。

分科会では、子どもを中心にすえた教育実践について各教科・領域ごとに報告されました。目の前の子どもの現実から生み出されたカリキュラムづくりや、子どもを中心にすえた教育のあり方等について議論が交わされました。子どもの教育を受ける権利や人権課題等の観点から、自分の実践を見つめ直し、なかまから多くのことを学ぶ機会となりました。

特別分科会では、「すべての人に学びの場を～『夜間中学』のこれまでとこれから～」をテーマに、第1部では、「夜間中学をめぐる動向」についての基調提案を受け、パネリストから夜間中学についての経過やとりくみの報告がありました。第2部では、夜間中学に通う生徒の作文を紹介し、夜間中学の学びの大切さと、これからの夜間中学のあり方について語り合われ、すべての人に学びの場を保障するために何ができるかを考える場となりました。

今次教研でも、各地域における教育課題を共有するとともに、「ゆたかな学び」を保障する教育実践について討議・交流を行いました。引き続き、平和・人権・環境・共生を柱に、憲法・子どもの権利条約の具現化と民主教育の確立にむけ、教育実践をさらに積み上げていきましょう。

2019年2月3日

日教組第68次教育研究全国集会